



海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中 田鶴子

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、日々各方面で活躍のことと存じます。

日頃は、当会の活動に深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は「スイス・チューリッヒ、ジュネーブ」への研修旅行に、21名という大勢の参加を得て、大変充実した研修旅行を実施することができました。本当にありがとうございました。

また、帰国後の報告の場となる、「KYOのあけぼのフェスティバル・ワークショップ」にも、多くの方が私達の発表に耳を傾けてくださいました。ラング・イボンヌさんとの繋がりをきっかけに実現したスイス女性との交流会、実際に行動して自分達の目で見て経験した事を、多くの人々に学んでいただき知っていただきました。そして、この発表をお聞きいただいたことがきっかけで、2月10日には、福知山市連合婦人会様の実践活動交流フォーラムにおいて、再び発表

の機会を得ることが出来ました。こういった活動の連鎖こそが、当会が目的とする、女性関係団体相互のネットワークづくりや国際交流の促進といえるのではないのでしょうか。

今後とも、このような活動の連鎖を多く生み出すためには私達一人ひとりが「人とのつながりを大切にして、学び続けること」や「実際に行動すること」そして「まわりの多くの人に伝えること」等々、こういった精神を持って実践することが必要であると思います。

最後になりましたが、ご承知のとおり、今年は『源氏物語千年紀』と題して、様々な事業が京都を中心に開催されます。そこで、私達の今年度の研修テーマを源氏物語千年紀に焦点をあて、紫式部ら平安女性の偉業を、女性の目線から様々な角度で研究し、現代社会が失いかけている大切な何かを汲み上げる機会になればと考えております。

会員の皆様の更なるご理解とご協力をいただき、女性の和がさらに大きくなることを願っております。



2007年度 総会及び研修会

● 日時：平成19年4月23日(月)11:00～16:00 ● 場所：京北商工会館

総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 議長選出
5. 議事
 - ①2006年度事業報告
 - ②2006年度会計決算報告
 - ③2006年度会計監査報告
 - ④2007年度事業案(審議)
 - ⑤2007年度予算案()
 - ⑥その他

研修会

春の京北をたずねて
伏条台杉・常照皇寺・御車返桜・100年桜・古民家などを見学
ボランティアガイドさんによる説明を受ける



表題「春の京北」は、前京都府知事荒巻植様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)「あけぼの」の意味です。
京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」しだれ桜さが菊。「木」北山杉。「鳥」オオミズナキドリ。を百塚マンス刺しゅうで表現したものを表紙絵としてご紹介します。



ごあいさつ

京都府府民労働部女性政策監
高田 みどり

海外研修KYOのあけぼの会の皆様方には、日頃から、京都府の男女共同参画行政の推進に格別の御支援と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、昨年「スイス・チューリッヒ、ジュネーブ」において、我が国にとっても重要な課題である社会環境、政治、教育、人権問題、福祉各分野で活躍されている方々との交流会や、福祉、教育等の施設の視察を中心とした研修旅行を実施され、その先進的な取り組み等をKYOのあけぼのフェスティバルのワークショップで発表をして

いただきました。たいへん示唆に富んだ内容で、福知山市連合婦人会の研修会においても発表されるなど、国際交流だけでなく、女性団体相互のネットワークの構築にも大きな役割を担っていただいております。

京都府では、人を大切に、人と人がつながり合う地域社会を築くため、「地域力の再生」を府政の最優先課題と位置付け、積極的に施策を展開しているところですが、このような地域力の再生に取り組んでいる方々の中においても女性の活躍はめざましいものがあり、女性も男性もいきいきと活躍することができる男女共同参画社会の実現こそが、まさに「地域力の再生」の大きな力になると考えております。

今後とも地域社会のリーダーとして、京都府の男女共同参画社会の実現に御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

春の総会及び研修会

日時：平成19年4月23日(月)11:00～16:00
場所：京北商工会館 春の京北めぐり

京北の美しい自然と心温かさに触れて

日本の一番美しい季節に京北での総会そして研修会に参加した。総会も終わりお楽しみの昼食は「春の山菜花見弁当」ご当地の会員前田芳子さんの手作り。紺の布袋に入った曲げの二段弁当。山菜の炊き込みご飯に、こごみや蒨のかき揚げ、芹と菜の花のおひたし、筍の木の芽和え、いたどりの炒煮、桜の葉のういろ等々。初めて口にすることもあり、どれも心温まる美味しさだった。

100年桜は丁度満開で美しく風に揺れていた。ボランティアガイド

さんの説明をお聞きしながらの見学。この樹は山桜の突然変異で一重と八重の花びらを付けているとの事。桜の木は樹形を整えながら成長すると言う。この樹は人が踏みつける方の枝が弱々しく見えておっしゃっていた。静かな山間の京北、今芽吹こうとしている山々が美しく動いているように思えた。いろいろ心尽くしの研修会、有難うございました。

目崎 節子

2007年度 海外研修KYOのあけぼの会 総会・研修会

4月23日春風のさわやかな朝、会員22名はバスに乗り京北商工会館に向かいました。国道162号線周山街道を走り現地に向かうまで、会員一瀬様によるボランティアガイドから北山杉の説明などを受けました。

地元ではインストラクターの養成の為に講座を設けられ、何名かがボランティアガイドとして案内されているとの事です。

京都府女性政策課 高田みどり様、吉村様ご出席のもと京北商工会館において総会がもたれました。田中会長のご挨拶の後、高田様は「地域力の再生のためには、行政と地元のグループが共同で取り組みたい。」と話されました。

2006年度の活動報告、決算報告。2007年度事業案、予算案が承認されました。

昼食は地元の山菜をふんだんに使った「おーらい黒田屋」のおしゃれで美味しい山菜花見弁当が、紺の着物地を利用した風呂敷に包まれて出てきました。

研修会のテーマは、「春の京北をたずねて」ボランティアガイドは自然に造詣の深い井本さんに替わり、600mの山をバスで登り、その後は徒歩で伏条台杉群に向かいました。

途中、三つ葉つつじ、こぶし、黒文字の花、フナの新緑に目も心も洗われながらの山道を楽しみました。

今日が見ごろといわれる一重と八重の桜を一本の樹に咲かせる春日神社の「黒田百年桜」。樹齢は約350年で、もうこんなに美しく咲くはずの無い古木でも、人々がきれいだといってお楽しみくださると又がんばって咲くのだとのこと。人間にも共通しているようです。

昔、お医者さんの家であったという古民家を訪れ、いろいろの周りで陶芸品を見、美味しいコーヒーをいただきました。

常照皇寺の門前の桜も満開で、京北の素晴らしさを改めて目の当たりにしました。

何よりも素晴らしいことは、ボランティアガイドをして下さった一瀬さんと井本さんの、京北が大好きでこの地域の良さを人に伝えたいという情熱でした。

この心がその地域を活性化してゆく源となるのでしょうか。お陰で私たちは今まで知らなかった京北の良さを味わい、企画し案内していただいたことに感謝して帰途に着きました。

大野 三恵子

